



ガーデニング



Cut

銀や銅の小片は
水を磨りにくし
花が長もちするニヤ



しっかりした葉を残し、茎を切り戻す。

花を生ける時は、水につかる葉や幼芽をすべて取り去る。終わった花がらや黄色く変色した葉は、花の寿命を短くするので早めに除く。

【切り花をコンテナで】

デルフィニウム、トルコギキョウ、キンギョソウ、ナデシコ…。切り花用の花はどれもカラフルでおしゃれ。鉢に植えると、丈の高さやボリューム感が味わえます。上手に育てれば2番花、3番花も楽しめます。



かわいいトルコギキョウ
写真提供/中道徹三郎

支柱を立てる。



Thanks

ポットスタンドを逆さまにして鉢を入れても良い。



風で倒れやすいので、軽いポリ鉢はNG。



真ん中はあけてお日さまに当てよう〜!



これで大丈夫!



プレゼント

ハイグレード原液 180g[※]・630円を10人に。植物の生育に必要な15種類の栄養素をバランス良く配合。チッソ、カリ強化により、花を多く咲かせます。23g[※]の応募要領で。プレゼント番号=30、賞品名=ハイグレード原液
商品提供=ハイポネックス ジャパン ☎06-6396-1119



して深く茎を切り戻します。真夏でも新しい花芽が続々と出てきます。
◎ナデシコやセキチクは深く切り詰め、肥料を多めに与えます。しっかりした太い花芽が吹いてきます。

- 種から育てるのも良いですが、苗からだとも、思いのほか簡単。2、3月に出来るポット苗にチャレンジしてみたいは?
- 【植え付け】
深めの8号ポット(直径24cm)で3〜5株。10株程度密植すると細めのかわいい花になります。市販の園芸用の土を入れ、日当たりが悪くなる鉢中央部はあけて植え付けます。
- 【生育期間中は】
時折、鉢を回して均等に日を当て、茎を真っすぐ伸ばします。水やりは、生育前半はたっぷり、後半はつぼみや葉をぬらす、土だけを湿らせます。
肥切れすると花が小さくなったり数が減ったりするので、生育前半は液肥や緩効性肥料を与えます。茎が30cm程度に伸びたらポットスタンドを活用するなどして、支えをします。
- 【花が咲いたら】
3分の1位のつぼみが開いたら切り花の適期。花瓶に生けて楽しむ、その後、2番花も咲かせましょう。
鉢でそのまま置く場合は、雨や花の重みで花茎が折れないようにきちんと支柱を立てます。
- 【2番花を咲かせよう】
最初の花を切り取った後、葉が残っている太い節まで切り戻します。もう一度苗を植えたつもりで、水やりと追肥を丹念に続けます。ひと月位で2番花が咲き始めてビックリしますよ。
- ◎デルフィニウムは茎を根元で切ると地際から新しい花芽が吹いてきます。水やりを案外好みます。
- ◎トルコギキョウやキンギョソウは4、5枚の葉を残